

## キャリア・コンサルティング技能検定2級 学科・実技(論述・面接)試験 体験記

平成28年3月27日 氏名 S

### 1. 試験に向けた準備の状況

いつ頃から始めたか ・10月下旬より

### 2. どのような内容を、どの程度行ったか

- ①「1級キャリア・コンサルティング技能士の会」主催の「2級面接(実技)試験 短期集中講座」、及び「2級合格ゼミ」に参加(合計5回)。
- ②「1級キャリア・コンサルティング技能士の会」作成の「学科 在宅模擬試験」を購入(2回分)。
- ③学科 過去問(4年分)×2回 ※土・日を使用して自主勉強。
- ④「1級キャリア・コンサルティング技能士の会」作成の「赤本」「青本」を購入。(赤本×1回、青本×1回)  
→赤本：通勤時に1日2～3頁程度、自主勉強。  
→青本：過去に青本を使用した「学科試験対策講座」に参加経験有。その際、どこがポイントになるのかを学んでいたため、そこを中心に自主勉強。
- ⑤他団体主催の「2級学科対策講座」に1回参加。
- ⑥1級保持者の方によるロールプレイを中心とした実技対策勉強会に参加。(2週間に1度、合計5回) ※1回の勉強会は、2.5h程度  
→主に自分が行ったロールプレイの逐語記録を作成・検討。
- ⑦1級保持者の方に、論述の添削を依頼。(過去問2ケース×6回程度)

### 3. 準備に対する振り返り

#### 【学科】

- ①とにかく過去問や在宅模擬試験を使用して勉強しました。
- ②問題文や選択肢の中で自分の知らない単語や法律名、理論等が出てきた場合、マーカーで印をつけてその日のうちに調べるようにしました。その際、「解答・解説書」に調べた結果を書き込み、テキストのように使用していました(単語や法律名、理論等に付随する情報も記載すると、より勉強が深まると思います)。

#### 【論述】

- ① 論述試験は解答が公表されていないため、対策がとても難しかったです。私は、「論述」と「面接」は別物と考えていたため、「1級キャリア・コンサルティング技能士の会」で開催された面接(実技)講座の中で、当初、「論述と面接は同じ」ということを理解できませんでした。「論述と面接が同じって、どういうことだろう」とずっとモヤモヤしていましたが、対策講座を通してキャリア・コンサルティングの流れを「文字」で表現するか、「実技」で実際に行うかの違いだということに気付くことができたので、論述の過去問を解く際、ここに気をつけながら記述するよう心がけました。

#### 【面接】

- ① 今回の試験対策では、今までとは違う勉強を行いました。それは、自分のロールプレイの逐語記録を起こすことです。これまでは自分のロールプレイを録音し、「耳」から学ぶことを中心に行ってきましたが、「自分のクセ」や「弱点」を明確化するために逐語記録を起こしました。今回の面接試験対策として逐語記録を3回起こしましたが、想像以上に時間がかかり大変でした。しかし、逐語記録を起こすことによって、自分のクセの他に、問題把握の甘さや要約の長さ、タイミング等、様々なことに気付くことができました。

これまで、私は様々な面接対策講座に参加しましたが、自分のロールプレイを途中で中断されたのは「1級キャリア・コンサルティング技能士の会」で開催された面接(実技)講座の時間が初めてでした。中断理由は、講座の中で学んだ「CC視点の問題点を口に出す」ということが全くできていなかったからです。

自分では「CC視点の問題を口に出しているつもり」でしたが、あくまでも「つもり」であって、私は口に出していなかったのです。それが体感できたのは、この中断された瞬間でした。

つまりロールプレイを止められることで、その場ですぐに自分のロールプレイを修正することができたのです。そして「CC視点の問題を口に出す」ということが、一体どういうことなのかを体で理解することができたのです。

まさに「目から鱗」状態でした。帰宅後、すぐに逐語記録を作成しました。文字に起こすことで「視覚」でも理解できたので、本当に逐語記録が役に立ちました。

面接試験当日まで、通勤電車の中では録音したロールプレイを「耳」から、印刷した逐語記録を「目」から、歩いている時、家事や入浴中は声に出すことで「口」から学びました。うまくできたロールプレイを使用して勉強することで、面接試験当日のイメージトレーニングを行っていました。

#### 4. 試験当日の状況

試験日：1月9日（土）

試験希望日をこの日に設定した理由：講座で学んだことを忘れないため

#### 5. 試験官の性別：女性2名

事例番号：3番

#### 6. これから受験する人へのアドバイス

私は3回目のチャレンジでようやく「合格」を掴み取ることができました。今までの私は、試験の不安を払拭するために試験ギリギリまで様々な対策講座に参加し、多くの方の指導を仰いでいた結果、前回はどの方のアドバイスを参考にすれば良いのかわからなくなってしまい、自分の面接スタイルを見失ってしまいました。

対策講座に参加したからと言って必ずしも合格するとは限りませんが、試験対策機関の「ポイントを押さえた講座カリキュラム」や「指導者との相性・指導内容、力量」も合格のカギを握っていると思います。

一番大切なのは「キャリア・コンサルティング技能士に絶対に合格する！」という強い気持ちと日々の努力です。「努力は必ず報われる！」

以 上